【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【公開番号】特開2014-26656(P2014-26656A)
【公開日】平成26年2月6日(2014.2.6)
【年通号数】公開・登録公報2014-007
【出願番号】特願2013-172529(P2013-172529)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　12/00　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　 3/048　 (2013.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　12/00　　５１５Ｍ
Ｇ０６Ｆ　 3/048　 ６５４Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年3月13日(2014.3.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
サーバーシステム外の第１のウェブブラウザおよび第２のウェブブラウザと通信可能な前記サーバーシステムであって、
前記第１のウェブブラウザによって表示されるデータを記憶する記憶手段と、
前記記憶手段に記憶されている前記データをコピーするためのコピー指示が、前記第１のウェブブラウザを介してなされることに応じて、前記記憶手段に記憶されている当該データをペースト対象に設定する設定手段と、
を有し、
前記ペースト対象は、前記第２のウェブブラウザによって表示されるペースト先へペースト対象をペーストするためのペースト指示が、前記第２のウェブブラウザを介してなされることに応じて、当該ペースト先へペーストされる
ことを特徴とするサーバーシステム。
【請求項２】
前記第１のウェブブラウザは、前記サーバーシステム外のクライアント装置上で起動されることを特徴とする請求項１に記載のサーバーシステム。
【請求項３】
前記第２のウェブブラウザは、前記サーバーシステム外のクライアント装置上で起動されることを特徴とする請求項１または２に記載のサーバーシステム。
【請求項４】
前記第１のウェブブラウザおよび前記第２のウェブブラウザには、それぞれ識別情報が入力され、
前記サーバーシステムは、
前記第２のウェブブラウザに入力された前記識別情報が、前記第１のウェブブラウザに入力された前記識別情報と同じ識別情報であるかどうかを判定する判定手段をさらに有し、
前記判定手段によって、前記第２のウェブブラウザに入力された前記識別情報が、前記第１のウェブブラウザに入力された前記識別情報と同じ識別情報であると判定された場合

に、前記第２のウェブブラウザを介してなされる前記ペースト指示が許可される
ことを特徴とする請求項１乃至３の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項５】
前記第１のウェブブラウザに入力された前記識別情報および前記第２のウェブブラウザに入力された前記識別情報は、前記サーバーシステムと通信するウェブブラウザを識別するために用いられる情報であることを特徴とする請求項４に記載のサーバーシステム。
【請求項６】
前記第１のウェブブラウザに入力された前記識別情報は、前記第１のウェブブラウザに対して前記サーバーシステムが発行した情報であり、
前記第２のウェブブラウザに入力された前記識別情報は、前記第２のウェブブラウザに対してユーザーが入力した情報である
ことを特徴とする請求項４または５に記載のサーバーシステム。
【請求項７】
一方のウェブブラウザによって表示されるデータが他方のウェブブラウザによって共有されていることを表す情報を、当該一方のウェブブラウザに表示させるような制御を行う制御手段を有し、
前記制御手段は、
前記判定手段によって、前記第２のウェブブラウザに入力された前記識別情報が、前記第１のウェブブラウザに入力された前記識別情報と同じ識別情報であると判定された場合に、前記識別情報が入力された後の前記第２のウェブブラウザに、前記第２のウェブブラウザによって表示されるデータが、前記第２のウェブブラウザに入力された前記識別情報と同じ識別情報が入力された前記第１のウェブブラウザによって共有されていることを表す情報を表示させるような制御を行う
ことを特徴とする請求項４乃至６の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項８】
前記判定手段によって、前記第２のウェブブラウザに入力された前記識別情報が、前記第１のウェブブラウザに入力された前記識別情報と同じ識別情報であると判定される場合の前記制御手段による前記制御において、前記識別情報が入力される前の前記第２のウェブブラウザには、前記第２のウェブブラウザによって表示されるデータが、前記第２のウェブブラウザに入力される前記識別情報と同じ識別情報が入力された前記第１のウェブブラウザによって共有されていることを表す情報が表示されないことを特徴とする請求項７に記載のサーバーシステム。
【請求項９】
前記第２のウェブブラウザによって表示されるデータが前記第１のウェブブラウザによって共有されていることを表す情報は、前記第１のウェブブラウザに入力された識別情報に関する情報であることを特徴とする請求項７または８に記載のサーバーシステム。
【請求項１０】
前記コピー指示は、前記データが前記記憶手段に記憶されている状態でなされることを特徴とする請求項１乃至９の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項１１】
前記コピー指示は、前記データが前記第１のウェブブラウザによって表示されている状態でなされることを特徴とする請求項１乃至１０の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項１２】
前記コピー指示は、前記第１のウェブブラウザを介してユーザーによってなされることを特徴とする請求項１乃至１０の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項１３】
前記ペースト指示は、前記ペースト先が前記第２のウェブブラウザによって表示されている状態でなされることを特徴とする請求項１乃至１２の何れか１項に記載のサーバーシステム。

【請求項１４】
前記ペースト指示は、前記第２のウェブブラウザを介してユーザーによってなされることを特徴とする請求項１乃至１３の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項１５】
前記記憶手段に記憶されているデータをペースト対象に設定するとは、当該データを識別するための情報を、ペースト対象を表すためのリストに登録することであることを特徴とする請求項１乃至１４の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項１６】
前記ペースト先は、前記第２のウェブブラウザを介して指定される、前記第２のウェブブラウザを起動するクライアント装置の外部の場所であることを特徴とする請求項１乃至１５の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項１７】
前記ペースト先は、前記第１のウェブブラウザを起動するクライアント装置の外部の場所であることを特徴とする請求項１６に記載のサーバーシステム。
【請求項１８】
前記ペーストの結果は、前記第２のウェブブラウザによって表示されることを特徴とする請求項１乃至１７の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項１９】
前記サーバーシステムは、前記第１のウェブブラウザおよび前記第２のウェブブラウザを介して利用されるソフトウェアアプリケーションサービスを、ネットワークを介して提供し、
前記記憶手段および前記設定手段は、前記サービスにおいて動作することを特徴とする請求項１乃至１８の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項２０】
前記設定手段によってペースト対象に設定されたデータを、ユーザーによってなされる指示に応じて、ペースト対象から外す除外手段をさらに有する請求項１乃至１９の何れか１項に記載のサーバーシステム。
【請求項２１】
サーバーシステム外の第１のウェブブラウザおよび第２のウェブブラウザと通信可能な前記サーバーシステムが行う方法であって、
前記第１のウェブブラウザによって表示されるデータを記憶する記憶工程と、
前記記憶工程によって記憶されている前記データをコピーするためのコピー指示が、前記第１のウェブブラウザを介してなされることに応じて、前記記憶工程によって記憶されている当該データをペースト対象に設定する設定工程と、
を有し、
前記ペースト対象は、前記第２のウェブブラウザによって表示されるペースト先へペースト対象をペーストするためのペースト指示が、前記第２のウェブブラウザを介してなされることに応じて、当該ペースト先へペーストされる
ことを特徴とする方法。
【請求項２２】
第２のウェブブラウザを起動するクライアント装置であって、
前記第２のウェブブラウザにおいて、ペースト先の選択をユーザーから受け付ける第１の受け付け手段と、
前記第２のウェブブラウザにおいて、前記第２のウェブブラウザとは異なる第１のウェブブラウザにおいてユーザーによってコピーが指示されたデータのペーストの指示をユーザーから受け付ける第２の受け付け手段と、
前記第２の受け付け手段が前記ペーストの指示を受け付けたことに応じて、前記クライアント装置とは異なるサーバーシステムに、前記コピーが指示された前記データを前記第１の受け付け手段が受け付けた選択に対応するペースト先へペーストさせる手段と、
前記ペースト先へのペーストが行われた結果を、前記第２のウェブブラウザにおいて表

示する手段と、
を有し、
前記第１のウェブブラウザにおいてユーザーによってコピーが指示された前記データは、前記サーバーシステムに記憶されているデータである
ことを特徴とするクライアント装置。
【請求項２３】
前記第１のウェブブラウザにおいてユーザーによってコピーが指示された前記データは、当該指示が前記第１のウェブブラウザにおいてなされた時点において、前記サーバーシステムに記憶されているデータであることを特徴とする請求項２２に記載のクライアント装置。
【請求項２４】
第２のウェブブラウザを起動するクライアント装置の行う方法であって、
前記第２のウェブブラウザにおいて、ペースト先の選択をユーザーから受け付ける第１の受け付け工程と、
前記第２のウェブブラウザにおいて、前記第２のウェブブラウザとは異なる第１のウェブブラウザにおいてユーザーによってコピーが指示されたデータのペーストの指示をユーザーから受け付ける第２の受け付け工程と、
前記第２の受け付け工程で前記ペーストの指示を受け付けたことに応じて、前記クライアント装置とは異なるサーバーシステムに、前記コピーが指示された前記データを前記第１の受け付け工程で受け付けた選択に対応するペースト先へペーストさせる工程と、
前記ペースト先へのペーストが行われた結果を、前記第２のウェブブラウザにおいて表示する工程と、
を有し、
前記第１のウェブブラウザにおいてユーザーによってコピーが指示された前記データは、前記サーバーシステムに記憶されているデータである
ことを特徴とする方法。
【請求項２５】
第２のウェブブラウザを起動するクライアント装置によって実行されるプログラムであって、
前記クライアント装置を、
前記第２のウェブブラウザにおいて、ペースト先の選択をユーザーから受け付ける第１の受け付け手段、
前記第２のウェブブラウザにおいて、前記第２のウェブブラウザとは異なる第１のウェブブラウザにおいてユーザーによってコピーが指示されたデータのペーストの指示をユーザーから受け付ける第２の受け付け手段、
前記第２の受け付け手段が前記ペーストの指示を受け付けたことに応じて、前記クライアント装置とは異なるサーバーシステムに、前記コピーが指示された前記データを前記第１の受け付け手段が受け付けた選択に対応するペースト先へペーストさせる手段、
前記ペースト先へのペーストが行われた結果を、前記第２のウェブブラウザにおいて表示する手段、
として機能させ、
前記第１のウェブブラウザにおいてユーザーによってコピーが指示された前記データは、前記サーバーシステムに記憶されているデータである
ことを特徴とするプログラム。
【請求項２６】
前記第１のウェブブラウザにおいてユーザーによってコピーが指示された前記データは、当該指示が前記第１のウェブブラウザにおいてなされた時点において、前記サーバーシステムに記憶されているデータであることを特徴とする請求項２５に記載のプログラム。